

ひとめぼれ栽培暦（移植・会津地域/両沼地方限定）

○栽培地帯: 会津の平坦地域

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 令和7年3月

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月																								
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬																							
生育	<p><< 作業日の目安 >> 作柄判定ほ (H22~R6) の平均 →</p> <p>移植期: 5/18頃 分けつ期: 6月上旬 幼穂形成期: 7/7~12頃 (出穂20日~25日前) 減数分裂期: 7月中旬 出穂期: 8/2頃 成熟期: 9/12頃</p>																																										
主な作業	<p>塩水選 浸種 催芽</p> <p>播種 育苗管理 田植え</p> <p>耕起 代かき 除草剤散布</p> <p>土壌改良剤 基肥施用 箱施薬散布 (殺虫・殺菌)</p> <p><<水管理>> 活着まで深水 移植 浅水管理で分けつ促進 中干し 落水</p> <p>穂もち防除 カメムシ防除 穂肥 (7/7~12頃)</p> <p>収穫 乾燥 調製 稲わら すき込み</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【品種の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早晩性: 中生 ・やや倒伏しやすい ・いもち病にやや弱い ・良質、良食味 ・耐冷性強(新基準) </div>																																										
栽培上の要点	<p>○土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堆肥や土壌改良資材の施用を励行する。その他については土壌分析結果に基づき不足する養分を補給する。 ・稲わらはすき込み地力の維持・向上に努める。秋の早い時期のすき込みは土壌還元対策にも有効である。 <p>○種子予措</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩水選(比重 1.13)を行う(ただし、比重選別機による選別済みの消毒済種子は不要)。 ・未消毒種子は、必ず薬剤や温湯で消毒する。 ・浸種は積算で 120℃を目安とする。 <p>○移植</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽植密度は畦間 30cm×株間 18~22cm(坪 50~60株)とする。 ・風のない暖かい日に移植する。活着したら浅水管理とし、有効茎の確保に努める。 田植え適期: 5月中旬~下旬 						<p>☆施肥体系 食味向上のための施肥管理</p> <p>①施肥量(成分 kg/10a) 基肥(窒素 5~6)+追肥(窒素 2)</p> <p>②穂肥は幼穂形成期(出穂前 25日頃)に施用</p> <p>③遅い穂肥、実肥(出穂以降の追肥)は食味低下の原因となるので、行わない。 ただし、著しく褪色し栄養凋落(秋落ち)が懸念される場合は、葉色低下を抑えるための追肥が必要である。</p> <p>(補足) ・側条施肥は基肥窒素量の 10~20%程度を減肥する。 ・一発肥料等の緩効性肥料を施用する場合は、慣行窒素施用全量の 10~20%程度を減肥する。</p> <p>○中干し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効分けつ(≒穂数)確保したら落水し、土壌表面に小ヒビが入り足跡がつく程度に干す。 						<p>○低温時の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼穂形成期以降に低温が予想される場合は、速やかに深水管理し幼穂の保温に努める。 <p>○夏季高温時の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温時は、「飽水管理」や「昼間湛水、夜間落水」といった水管理を行う。 <p>○斑点米カメムシ類の防除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畦畔の草刈り 出穂10日前までに実施し出穂後は行わない。 <p><農薬による防除の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・粉剤・液剤(散布剤)による防除 1回目: 乳熟期(出穂期の7~10日後) 2回目: その7日後に散布 ・粒剤による防除 穂揃期~出穂期10日後頃に湛水状態で散布する。その後も発生が多い場合は、散布剤により追加防除を行う。 						<p>○刈取り適期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈取り始めの判断は籾の黄化率を必ず確認。黄化率 85%以上を目安とする。 ・刈取時期の積算気温…950~1200℃ <p>○乾燥・調製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急激な乾燥や過乾燥、高水分籾での乾燥などを避ける。 ・選別機の網目は 1.9mm で調製する。 <p>☆生育指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>項目</th> <th>指標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">幼穂形成始期</td> <td>茎数(本/㎡)</td> <td>700~800</td> </tr> <tr> <td>葉色(SPAD502値)</td> <td>38~41</td> </tr> <tr> <td>草丈(cm)</td> <td>60~65</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">成熟期・収穫期</td> <td>収量(kg/10a)</td> <td>650~730</td> </tr> <tr> <td>登熟歩合(%)</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>穂数(本/㎡)</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>籾数(万粒/㎡)</td> <td>3.5~3.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考資料) ・稲作指導指針(H4.3月)</p>						時期	項目	指標値	幼穂形成始期	茎数(本/㎡)	700~800	葉色(SPAD502値)	38~41	草丈(cm)	60~65	成熟期・収穫期	収量(kg/10a)	650~730	登熟歩合(%)	85	穂数(本/㎡)	550	籾数(万粒/㎡)	3.5~3.9
時期	項目	指標値																																									
幼穂形成始期	茎数(本/㎡)	700~800																																									
	葉色(SPAD502値)	38~41																																									
	草丈(cm)	60~65																																									
成熟期・収穫期	収量(kg/10a)	650~730																																									
	登熟歩合(%)	85																																									
	穂数(本/㎡)	550																																									
	籾数(万粒/㎡)	3.5~3.9																																									